

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

## ベナン月報(2023年6月)

### 【内政】

- 6日、政府事務総局コミュニケを以て、オルシェグン・アジャディ・バカリ(Olushegun ADJADI BAKARI)新外務大臣の任命が発表された。(7日各紙)
- 21日、健康保険加入義務付けに係る大統領令が閣議決定された。(22日各紙)

### 【外政】

- 1日、ベルギー国防大臣はベナンを訪問し、ヌアティン大統領付国防担当副大臣及びベナン国軍統合参謀総長と会談した。(5日、L'Événement Précis 紙)
- 22日及び23日、タロン大統領はパリで「新たな国際的開発資金取決めのための首脳会合」に出席した。(26日、La Nation 紙)

### 【治安】

- 2日、ズー(ZOU)県知事は条例(arrêté)により、同県アボメ(Abomey)、ボイコン(Bohicon)及びジジャ(Djidja)を狂犬病汚染地域に指定した。(6日、Le Matinal 紙他)
- 共和国警察監察官はラジオ番組で、ベナン全土で過去数年間に441件の誘拐事件が発生していると述べた。(23日、Le Matinal 紙)

### 【経済】

- 22日、コトヌ市内国際会議場(Palais des Congrès)において、内水面養殖普及プロジェクトフェーズ2(PROVAC-2)終了時セミナーが実施され、開会式に津川貴久大使が出席した。(23日、La Nation 紙他)

### 【文化・その他】

- 10日、大統領令により、共和国警察内に文化財保護特別部隊が創設された。(20日、Le Matinal 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

### 【内政】

- 6日、憲法裁判所新裁判官7名の就任式が実施された。同裁判所長官にはソッサ(Dorothe SOSSA)氏が就任した。(7日各紙)
- 6日、政府事務総局コミュニケを以て、オルシェグン・アジャディ・バカリ(Olushegun ADJADI BAKARI)新外務大臣の任命が発表された。(7日各紙)
- 13日、ヘホメ元インフラ・運輸大臣は、代理人と交替する形で国民議会議員に復職した。(14日、Le Matin Libre 紙)

- ・ 21日、障害者の権利保護及び推進に係る大統領令が閣議決定された。(22日、La Nation 紙、Le Matinal 紙及び L'Événement Précis 紙)
- ・ 21日、健康保険加入義務付けに係る大統領令が閣議決定された。(22日各紙)

#### 【外政】

- ・ 5月30日、ブルンジ政府代表団は、ベナン国民情報管理局(ANIP)を視察した。(6日、Le Matinal 紙、9日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 1日、ベルギー国防大臣はベナンを訪問し、ヌアティン大統領付国防担当副大臣及びベナン国軍参謀総長と会談した。(5日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 12日及び13日、アジャディ・バカリ外務大臣は、仏、中国、モロッコ及びナイジェリアの各駐ベナン大使の表敬を受けた。(14日、L'Événement Précis 紙、15日、Le Matinal 紙)
- ・ 21日、タロン大統領はコートジボワールを訪問し、ウワタラ・コートジボワール大統領と会談し、治安及び経済情勢等につき協議した。(22日、La Nation 紙及び Le Matinal 紙)
- ・ 22日及び23日、タロン大統領はパリで「新たな国際的開発資金取決めのための首脳会合」に出席した。(26日、La Nation 紙)
- ・ 23日、タロン大統領は、ティヌブ・ナイジェリア大統領とパリで会談した。ティヌブ大統領はベナン・ナイジェリア関係の緊密さを強調した。(26日、La Nation 紙、Le Matinal 紙及び L'Économiste 紙)
- ・ 23日、ペン駐ベナン中国大使はソッサ憲法裁判所長官を表敬し、経済・文化等分野での中ベナン関係につき協議した。(26日、La Nation 紙、Le Matinal 紙及び L'Événement Précis 紙)

#### 【治安】

- ・ 2日、ズー(ZOU)県知事は条例(arrêté)により、同県アボメ(Abomey)、ボイコン(Bohicon)及びジジャ(Djidja)を狂犬病汚染地域に指定した。(6日、Le Matinal 紙、7日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 9日、経済犯罪・テロリズム防止裁判所(CRIET)は、テロ組織への所属容疑で、ブルキナファソ人男性に対し懲役30年の判決を言い渡した。(12日、Le Matinal 紙)
- ・ 15日、CRIETは、電磁的方法による偽情報流布の疑いで、オンラインラジオ局「Cristal News」情報局長に対し懲役12か月及び罰金2億CFAフラン(約4,000万円)の判決を言い渡した。(16日、Le Matinal 紙)
- ・ 17日、アフリカネイションズカップ予選のベナン対セネガルのサッカー国際試合がコトヌ(Cotonou)市内マチュー・ケレク将軍友好スタジアムで開催された際、スタジアム外の雑踏の中で死者2名及び負傷者15名が発生した。(19日、Le Matinal 紙及び L'Événement Précis 紙)
- ・ 8日から12日、ダントツパ市場において、偽医薬品販売の疑いで7名が逮捕され、偽医薬品1.5トンが押収された。(21日、Le Matinal 紙)
- ・ 共和国警察監察官はラジオ番組で、ベナン全土で過去数年間に441件の誘拐事件が発生していると述べた。(23日、Le Matinal 紙)

## 【経済】

- ・ 5月14日から18日まで、サウジ開発基金代表団がベナンを訪問し、首都ポルトノボ(Porto-Novo)への科学教育高校建設及びボルグ(BORGOU)県パラク(Parakou)への高等師範学校建設のための資金供与協定締結交渉等を実施した。(8日、La Nation 紙)
- ・ 5月30日、JICAベナン支所と幼少・初等教育省は、教育分野におけるJICA海外協力隊員配置に係る協定に署名した。(2日、Le Matin Libre 紙、9日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 2日、プラン・インターナショナル・ベナンは、ウエメ(OUEME)県内の幼稚園園舎及び小学校校舎の引渡式を実施し、ポール常駐代表が出席した。(5日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 6日、ベナン・ニジェール原油パイプラインの原油オフショアターミナル及び積出埠頭完成式典が開催された。(8日、La Nation 紙及び Le Matin Libre 紙、14日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 7日、UNICEFはMTN財団との協力により、アタコラ(ATAKORA)県タンゲタ(Tanguiéta)で、女子中高生向け生理用品キット1万個の引渡式を実施した。(20日、La Nation 紙)
- ・ 14日、日本の資金提供により、太陽光ランタンによる公立小学校電化プロジェクトをベナン全土計10県の児童約3,000名を対象として実施することが閣議決定された。(15日各紙)
- ・ 15日及び16日、米非営利団体「共和党国際研究所」はUSAIDの支援の下、ベナン北部4県及びコリーヌ(COLLINES)県のジャーナリストを対象に、暴力的過激主義関連報道方法に関するワークショップを実施した。(19日、La Nation 紙)
- ・ 19日、投資・輸出促進局(APIEX)及び投資・産業促進公社(SIPI-Bénin)は仏マルセイユ市で、対ベナン投資機会に関する仏企業関係者向け説明会を実施した。同説明会は27日まで、リヨン市、パリ市、レンヌ市等仏国内各地をめぐる。(21日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 20日、「農村・農業教育支援プロジェクト」開始式典が開催された。同プロジェクトはベナン北部への農業高校6校の建設を含み、AFD及びルクセンブルク開発庁(Luxdev)が参加している。(22日、La Nation 紙)
- ・ 22日、コトヌ市内国際会議場(Palais des Congrès)において、内水面養殖普及プロジェクトフェーズ2(PROVAC-2)終了時セミナーが実施され、開会式に津川貴久大使が出席した。(23日、La Nation 紙、29日、L'Événement Précis 紙)

## 【文化・その他】

- ・ 10日、大統領令により、共和国警察内に文化財保護特別部隊が創設された。(20日、Le Matinal 紙)
- ・ 13日、保健省は、ベナンにおけるトラコーマ撲滅記念式典を開催した。(14日、Le Matinal 紙、15日、La Nation 紙及び Le Matin Libre 紙)
- ・ 22日から25日、ニアメ(ニジェール)で柔道オープン大会が開催され、ベナン人選手2名が銅メダルを獲得した。(27日、Le Matin Libre 紙)